



No.116  
2023.3.30

# SEA NEWS



① … レジスタFC、2連覇!～JFA 第46回全日本U-12サッカー選手権大会 2022年度第3回通常理事会開催	⑩ … 大会記録●県内大会 1種社会人・大学・2種高校・3種
② … 【技術委員会】「SFAフットボールフィロソフィー」始動～Greatであれ!	⑪ … 大会記録●県内大会 3種・4種・女子
③ … 座談会 WEリーグ、何が課題なのか?SFAとして、何ができるのか? Vol.3	⑫ … 大会記録●県内大会 女子・シニア・フットサル ●県外大会 1種・大学
④ … 審判委員会より～1人制審判への理解を求めて～「大南杯」を通じて【担当審判員コメント】	⑬ … 大会記録●県外大会 大学・2種・高校・3種
⑤ … 第16回埼玉県4種サッカーリーグ・選手権大会 上尾朝日FCスポーツ少年団Aが3年振り2度目の優勝!	⑭ … 大会記録●県外大会 4種・女子・シニア
	⑮ … 大会記録●県外大会 シニア・フットサル インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18雁ヶ音ビル204号室 Tel048-834-2002・Fax048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

## レジスタFC、2連覇! ～JFA第46回全日本U-12サッカー選手権大会

レジスタFCが、まさに快挙です。2年連続3度目の全国制覇を成し遂げてくれました。1次ラウンドでは順当に勝ち進みましたが、ラウンド16は昨年度の決勝で勝利した鹿島アントラーズジュニアと対戦。シーズンゲームを演じて、終了間際に佐藤泰旺選手が、この日ハットトリックとなるゴールで勝ち上がると、一気に突き抜けていきました。

次は唯一、横浜F・マリノスプライマリーが果たした3連覇(2004～2006年)に挑んでほしいものです。

なお今回の大会は、前年度の優勝県枠として県大会準優勝の江南南サッカー少年団も出場しました。残念ながら、両チームが決勝の舞台でまみえることは叶いませんでしたが、来年度も枠は2つあります。大いに期待しましょう。

12月26日～29日 白波スタジアム他

### 【1次ラウンド】

- グループE 江南南SS 0-1 オオタFC(岡山県)  
FC.セレスタ(宮城県) 2-0 江南南SS  
エスペランサFC 1-5 江南南SS

※江南南SSはグループ2位

### ●グループH

- ディアプロッサ高田FC(奈良県) 0-3 レジスタFC  
レジスタFC 3-1 ソレッソ宮崎  
レジスタFC 3-1 ヴェルディSS岩手

※レジスタFCはグループ1位



優勝 レジスタFC

### 【決勝ラウンド】

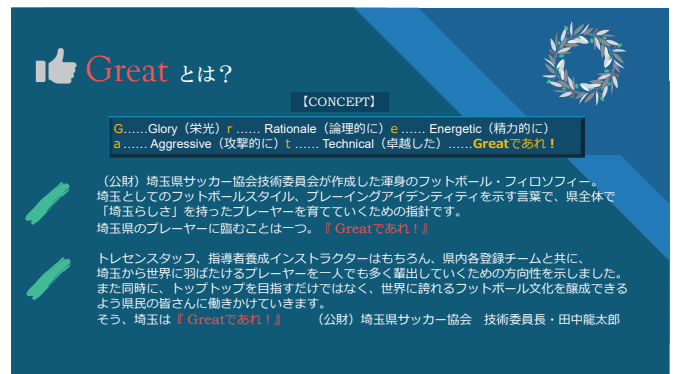
- ラウンド16 レジスタFC 3-2 鹿島アントラーズつくばジュニア
- 準々決勝 レジスタFC 2-1 松本山雅FC U-12
- 準決勝 アズーロ(滋賀県) 1-6 レジスタFC
- 決勝 柏レイソルU-12 0-2 レジスタFC

## 2022年度第3回通常理事会開催

2月25日、2022年度第3回通常理事会が開催されました。主な案件としては、2023年度の事業計画書及び予算計画書などが審議され、承認されました。また、事務局から新たに作成された「SFAビジョン」「SFA ミッション」、技術委員会から「SFA フットボールフィロソフィー」(2ページに関連記事)の説明があり、これらも認めら

れました。

なお、細則・規則の変更点として講習会の謝金の設定、電力料金の値上げに伴うSFAフットボールセンターの照明料金がありました。詳細に関しては、SFA公式ウェブサイトに掲載予定です。



## 【技術委員会】

# 「SFAフットボールフィロソフィー」始動～Greatであれ!

2月に開催された第3回 SFA 通常理事会において、今回紹介する「SFA フットボールフィロソフィー」が承認されました。田中龍太郎技術委員長と山崎茂雄 FA コーチに、この一年を振り返りつつ、「SFA フットボールフィロソフィー」(哲学)を解説していただきました。(構成/広報 荒川裕治)

### 「理論的に、エビデンスを確認しながら」(山崎)

—まずは、お二人とも就任されて約一年経ちました。ここまでのところについて、お話を聞かせてください。

田中 とにかく、山崎さんがFA コーチとして来ていただいて、すべてがガラッと変わりましたね。この場をお借りして、山崎さん、いろいろなアイデアを出していただき、ありがとうございました。また、技術委員の皆さんも状況が変わっていく中で、協力してくれています。まだ何も成し遂げていないのですが、埼玉サッカーの発展、埼玉の子どもたちのために協力してくださる皆さんに感謝しています。



田中龍太郎技術委員長

山崎 これまでの過去の経験から、どこに行っても1年目というのはヘビーです。大宮アルディージャのユースのとき、JFAのナショナルトレセンのスタッフとして北海道、さらに東北、そこから東ティモールへ行き、松本山雅。だいたい1年目は無我夢中で走り続けて、いかに「自分らしさ」を保てるかがテーマでした。

改めてですが、田中委員長とは大学、教員時代からの仲間で、私のことをよく知った上で呼んでいただきました。埼玉を離れた後も連絡を取り合っていましたから、私が学んだJリーグのJHoC(Jリーグヘッドオブコーチング養成コース/J.LEAGUE Heads of Coaching Courses)についても知ってもらっていました。フィロソフィーの作成を学び、実際作成したものをクラブで浸透させているという話をしました。

今回着任して、SFAにフィロソフィーが無かったのでつくろうかと思ったのですが、実のところ「そぐわないのではないかな」とも思いました。というのは、FAとしての指導現場は、月に数回のトレセン活動の場くらいです。しかしながらJHoCで学んだのは、日常の現場、所属チームでの活動を前提にしたものです。ですから、ちょっと違うのではないかと。

ただ、いろいろな人と話をする中で「必要だよ」とアドバイスももらったので、多分、4月くらいに田中さんに「つくりますか?」と話をしたのがスタートだったと覚えています。

—個人的に、制作に参加させてもらいましたが、まさにゼロからのスタートでしたね。ただただ、山崎さんが学んできたことを教えてもらいながら、という感じでした。当時、意識したいことはどんなことだったのでしょうか。

山崎 つくりながら、途中の過程で「今の埼玉の現状」をわかってもらおうと考えました。新しいことを始めようとする、どうしても「今までを否定された」と捉える人が出てくるものです。しかし、よりよくしていくわけですから、そこを理論的に、エビデンスを確認しながら進めることを意識しました。

実際には、フィロソフィーを理解して、活用してもらわなければいけません。今、指導者養成のチューター(インストラクターから名称変更)とトレセンスタッフに落とし込んでいっているところです。ただ、上から落とし込むのではなく、すり合わせをしているところと言ったほうがいいですね。まだ始めたばかりです。

その中で、例えばトレセンに関しては、この一年、全体的に回って視察しました。そもそも、トレーニングを見守りながら、サポートするのが私の仕事。まずは現場の指導スタッフの皆さんが何を教えて、何をしているのかを観察していました。

### 「最初から『素晴らしいものにしよう』」(田中)

—その観察する中で、様々な課題もそうでしょうか、いいところも発見し「ではこれからどうするか」を提示したのが、「SFAフットボールフィロソフィー」です。

山崎 そうです。とにかく、MMG(技術委員会マネジメントグループ。メンバーは田中委員長、山崎FAコーチ、柏悦郎ユースダイレクター/SFA専務理事、荻野清明強化対策部長、荒川裕治SFA広報委員)の仲間がいたことで助かりました。チームの監督と一緒に、こういうのを作成すると孤独な作業になってしまいますが、グループの中で同意しながら進められてよかったと思っています。ようやく、技術委員会の中にも浸透させていく段階に入りましたね。

—グループ内の会議はとにかくやりましたね。LINEやメールのやりとりもかなり頻繁にやってきました。確かにこれからが大事です。田中委員長は、この「SFAフットボールフィロソフィー」にどのような手ごたえを感じていますか。

田中 最初からこのフィロソフィーを「素晴らしいものにしよう」と思ってつくったんですよ。

ただ山崎さん以外は、「今のJクラブって、こうやって選手やチームをつくっていく」というのを知らなかったんですね。実際に制作に携わっていく中で知らないこと、見たこともないことを知ったというところ。

まだまだ「フィロソフィー」という言葉の意味もわかっていない人もいるかもしれませんが、こういうものをFAで作成できたということは、率直にすごいことだと思っています。あとは、どのように運用していくかですね。

—どう広めていくのが、これからのテーマです。そこで少し解説を交えながら、フィロソフィーそのものを紹介していきましょう。扉には「Greatであれ!」です

山崎 コンセプトの頭文字を語呂合わせしたものです。Glory(栄光)、Rationale(論理的に)、Energetic(精神的に)、Aggressive(攻撃的に)、Technical(卓越した)。JHoCで学んだことの一つに「最上級のものをつくれ」がありました。なので、Greatにしました。

併せて、ビジョンも大きなものにしました。

- ・J-League / 欧州5大リーグ所属選手数が日本一(日本代表)
- ・指導者とプレーヤーが、ともに成長し続ける
- ・サッカーファミリーが増え続け、人生が豊かになる

そして、サッカーに関わる全てのみなさんと分かち合う「埼玉らしさ」として、

「つなぐ(伝統)」「ハードワーク」「クール」「チャレンジ」

そう、ビジョン達成の期限、「いつまでに」切りますか?

田中 なんとなく共有していることですが、2040年かなと考えています。今、8歳の子どもの子が25歳になったときに世界へ羽ばたいてほしいと願っています。

山崎 ということで、2040年までです(笑)。そしてトップトップだけではなく、「裾野」も忘れてはなりません。荻野さんからの発案で「サッカーファミリーが増え続け、人生が豊かになる」を入れました。実際、

一生懸命サッカーに取り組んでも、トップのプレーヤーになれない子どもがほとんどです。しかし、みんなが伸びようとしてくれることが大事で、それぞれが夢や目標を持ってくれることが大事だと考えているのです。

着任してすぐ、田中委員長と一緒に4種年代のフェスティバルを見る機会がありました。改めて埼玉の子どもたちにはポテンシャルがあるなと思ったのです。ボール扱い、すばしっこさ、要領のよさ、そしてサッカーに対する本気さ。そこで思いついたのが、

**【プレースタイル】として……**

攻守における洗練されたテクニックと、強度の高いアグレッシブなプレーをベースに、組織化された、論理的なフットボールスタイルで勝利することを伝統としていく

**【プレーイングアイデンティティ】として……**

スペースを作り出し、数的優位と個の能力を生かしてボールを支配し、得点する。

ゴールに向かうために、スペースと相手をコントロールしてボールを奪い、ゴールを守る

でした。プレースタイルというのは、「生きざま」そのもの。こだわりです。プレーイングアイデンティティは、簡単に言うとスペースをうまく使うということです。守備でもボールを持っている相手との間合いを、こちらでコントロールするという感じですね。いずれにしても、ボールを運べる選手を育てていきたいと考えています。

## Fundamental という意識

——ということを各カテゴリーのトレセンではプレーヤーが意識するよう指導することを求めています。また、指導者養成のチューターの皆さんを通じて、これから新規で講習会を受講する方はもちろん、リフレッシュ講習会を通じて浸透させていきたいものですね。

次に、「プレーイングフィロソフィー」を提案されたんですよ。U-12とU-15で、それぞれ4局面（攻撃、守備、守備から攻撃、攻撃から守備）のファクターを出してもらいました。

山崎 トップトップを意識したものを作成していましたから、各年代のトップレベルのプレーヤーには身につけてほしいものを出しました。しかし、県内のトレセンや指導現場を回るうちに、多くの子どもたちは目的を持った「止める」「蹴る」「運ぶ」「関わる」「奪う」の精度をもう少し上げられないのかな、という話になったんですね。

——そこから、いきなり「Fundamental (ファンダメンタル/基礎・土台)」という単語が出てきて(笑)。個人的に「Fundamental そのものが理解してもらえるのか？」と議論したことを覚えています。そこで「Basic」との違いを提起することを提案させていただきましたね。

山崎 ということで、実は「Fundamental」こそ、一番大事な話なんですよ。 「Fundamental」とは、目的を持った個人技術・戦術のことです。現在、講習会を開催する中で伝えているのは、「プレーイングフィロソフィー」ではなく「Fundamental」フィロソフィーです。

例えば、イニエスタたちが全盛だった頃のスペイン代表って、何がすごかったかという「Fundamentalの質が高い」ということでした。目的を持ったボールコントロールが身につけていて、どんな場面でも「自動化」できているのですから。そこが日本との違いです。また、どの年代になっても、プロになっても「Fundamental」なトレーニングは続けていますよね。

日本も武道においては「型」があるんですけど、サッカーでも海外を見ると「型」はあるんですよ。

田中 しっかりと教えないといけないものは教えてほしいのです。埼玉の指導者としては、これを知っていて、かつ自分でもできるようになっていないと困るのが「Fundamental」フィロソフィーです。

「Fundamental」フィロソフィーについては、4種のチームで「取り入れてみよう」と思ってもらえるといいですね。10歳くらいから少しずつでもやってくれていれば、本当の土台ができるでしょう。もち

ろん3種、2種のプレーヤーにも「Fundamental」フィロソフィーは通用します。

山崎 「埼玉らしさ」がボールを握ってゴールを目指すのであれば、だからこそ「Fundamental」なんです。埼玉のチーム、クラブが同じ方向を向いてくれればいいですね。

田中 サッカーをやっている、何が楽しいのか？ 勝利を目指すのは当然ですが、その中でしっかりとボールを握る、主導権を握って意図のある攻撃をしたいものです。やはり偶然や勢いではなく、ゴールすることをイメージして、ボールを握りたい。握ることと「勝利」とのバランスが難しいですね。試合になると、どうしても勝つためにリスクを背負わないサッカーをしてしまうのです。

山崎 まさしくそこが「価値観」です。いま意識しているのは「T-M-T」です。トレーニングをして、試合で試して、またトレーニングをする。この意識を持ってほしいですね。

何を求めていくのか？ サッカーの試合では最後は個人の判断です。そのためには周りが見えていないといいプレーはできません。そのためには、リラックスした状態でパスを受けないと、いいプレーはできないのです。だいたい、4対2のポゼッションをしていて、攻撃側が簡単にボールを失っているようでは困ってしまいます。

## 「埼玉らしさ」を醸し出すため

——今回、具体的な「Fundamental」フィロソフィーは提示していませんが、考え方は提示してありますので、まずは読んでいただきたいと思います。とにかく、「Fundamental」ですね。

続いて、キッズに関しても提示していますね。

山崎 前委員長でユースダイレクターの柏専務理事からは「キッズのところからしっかりやっていきたい」という話がありました。特にキッズフェスティバルの見直しは急務だと思っています。合わせて、来年度からはリフレッシュ講習会の内容を事前提示して募集をかけることにしました。その中で、昨年の「SFA NEWS」(113号)に登場していただいた、立教大学の沼澤秀雄さんを講師に迎えて、キッズ年代のフィジカルトレーニングについて講義を行ってもらう予定です。トップトップを意識するからこそ、スタートを大事にしていきたいと考えています。



山崎茂雄 FA コーチ

——最後に「コーチングバリュー」として、サッカーに関わる全てのみなさんと分かち合う「埼玉らしさ」を提示されています。

山崎 プレーヤーにも意識してもらいたいことですが、まずは指導者の皆さんには意識してほしいものです。つなぐ(伝統)、ハードワーク、クール、チャレンジ。これらがプレーヤーたちから醸し出される「埼玉らしさ」になればいいと思っています。

つなぐ(伝統)……SFAフットボールフィロソフィーを踏まえた指導により、個の特徴を最大限に伸ばす指導をする

ハードワーク……体系的なプレーヤー育成を実現するため、指導者が凛としたオーナーシップを持って活動する

クール……経験と理解の裏付けを基に、機知に富んだ発想で状況を好転させる

チャレンジ……常にその選手の“次なる成長”を意識して、課題を設定し、共に挑戦を続ける

プレーヤーに寄り添いながら、サポートしていきたいと思っています。こういう考えをプレーヤーの周りにいる大人、ひいては県民の皆さんに理解してもらいたいものです。

田中 ある時期、「トレセンで選手を育てる」という言葉が聞かれました。確かにトレセンでも成長してくれるのですが、やはりプレーヤ

一は日々練習している所属チームで育つんです。

今回、我々が作成したフィロソフィーは、すでにレッズさんも、アルディージャさんもクラブとしてつくっていらっしゃると思います。昨年、両クラブから説明をお聞きしましたし、まだこちらは途中でしたが聞いてもらいました。レッズさん、アルディージャさんはそれぞれの方向性を持っているいらっしゃる中、こちらが提示した「埼玉として」という部分に共鳴してもらいました。

山崎さんに入ってもらったことで、JHoCの取り組みを三者で共有できていけば、もっとよりより「埼玉のサッカー」が見えてくると思うのです。

ただ、まだGKのフィロソフィー、女子のフィロソフィーに関しては着手できていません。来年度の課題として残っています。山崎さん、引き続きよろしくお願いします。

山崎 こちらこそ、よろしくお願いします。順次、情報開示していきます。

たいと考えています。また、チームの練習にもお邪魔したいと思っています。お気軽に事務局までお問合せください。

——こちらをサポートしていきます。よろしくお願いします。ありがとうございました。



## SFA フットボールフィロソフィー

SFA-Technical Committee Football Philosophy

Contents (目次)

- Greatとは
- 未来像/価値観
- プレイスタイル
- フィロソフィーの構成
- 指導の価値観

SFA-Technical Committee Football Philosophy

自立した「個」がグループとなり、チームとなり、勝利を目指す  
極めて重要なのは「自主性」と「自律性」

【プレイスタイル】  
攻守における洗練されたテクニックと、強度の高いアグレッシブなプレーをベースに、組織化された、論理的なフットボールスタイルで勝利することを伝統としていく

【プレイングアイデンティティ】  
スペースを作り出し、数的優位と個の能力を生かしてボールを支配し、得点する。  
ゴールに向かうために、スペースと相手をコントロールしてボールを奪い、ゴールを守る

SFA-Technical Committee Football Philosophy

運用のための要素 (抜粋)

- 中期計画
- 技術委員会組織図
- 職務明細表
- トレーニング構成ガイドライン (Pictorial)
- プレイングフィロソフィー
- ファンメンタルフィロソフィー
- コーチングガイドライン (4原則)
- トレーニングの流れ
- 活動報告シート
- 個別育成計画 (IDP)

SFA-Technical Committee Football Philosophy

~Playing Philosophy を実現するための Fundamental Philosophy & 4 Pillars~

【基本の深掘り 4 原則: 4 Pillars】

- Ingenuity (攻守で精巧なテクニック)
- Intensity (高い集中力から、高強度のプレー)
- Identity (特徴の獲得、自主性)
- Height (プレーレベルの理解による高能力)

SFA-Technical Committee Football Philosophy

ビジョン

- > J-League / 欧州 5 大リーグ所属選手数が日本一 (日本代表)
- > 指導者とプレーヤーが、ともに成長し続ける
- > サッカーファミリーが増え続け、人生が豊かになる

サッカーに関わる全てのみなさんと分かち合う「埼玉らしさ」

つなぐ (伝統) **ハードワーク** クール チャレンジ

SFA-Technical Committee Football Philosophy

Fundamental

~まずは Fundamental (基礎的事項)、結局 Fundamental~ Fundamental を合い言葉に

Fundamental... 家づくりに例えると「土台」であり基礎なのです。ただ、Basic という意味ではありません。なぜならば、簡単にクリアできるものではないからです。

こういう「土台」は、身に染ければ一生ものなのです。どこへ行っても使えるのです。だから、Basic なのではなく、あえて Fundamental と言いたいのです。

ローマ同様、Great も一日にしてならず、です。近道なんてありません。だから私たちは謙虚に、プレーヤー一人ひとりが Fundamental の質を、精度を上げてくれるようサポートしてきたいものです。

近い将来埼玉の若いプレーヤーたちが、Great の冠をしっかりと頭にのせられるために、Great の冠にふさわしいプレーヤーを数多く輩出し続けるために。

## 技術委員会より2023年に向けての決定事項

- 柏悦郎ユースダイレクターが退任し、SFA 専務理事に専任することになった。後任のユースダイレクターは山崎茂雄 FA コーチが兼任することになった。これにより、育成・普及部会長 (主にトレセン) 及び指導者養成部会長も兼務する。
- 山崎 FA コーチの名称を、その職制から HOC (ヘッドオブコーチング) とする。

- 鹿児島国体に向けて、以下の監督で臨むことを決定した。  
 成年男子監督 中村祐也 (アヴェントゥーラ川口)  
 少年男子監督 大野恭平 (市立浦和高校)  
 少年女子監督 葉袋 (みない) 広明 (クーバー・コーチング・ジャパン新座校)
- 以後、技術委員会としては一般的に「選手」ではなく「プレーヤー」と表記する。  
 ※随時、技術委員会ホームページにて情報発信していきます。

# WEリーグ、何が課題なのか？ SFAとして、何ができるのか？ Vol.3

【参加者】

神戸慎太郎 三菱重工浦和レッズレディース育成統括  
渡辺 典子 SFA 女子委員長  
池田 浩美 尚美学園大学女子サッカー部監督  
柏 悦郎 SFA 専務理事

座談会の第3弾です。今回は三菱重工浦和レッズレディースの育成統括に就任された神戸慎太郎さんをお招きし、現状の課題を伺いました。SFAとして何ができるのかを渡辺典子・女子委員長、元なでしこジャパンキャプテンでもある池田浩美氏（尚美学園大学女子サッカー部監督）、そして柏悦郎・SFA専務理事と共に考えていきます。（司会・構成／広報 荒川裕治）

## 母親を巻き込みながら、サッカーに親しんでもらう。 そして小・中の環境整備こそ、女子サッカーの発展につながる

### 「やはり観客動員と認知度」(神戸氏)

—神戸さん、昨日も別件の会議（国体関連）でご一緒させていただきました。本日もよろしくお願ひいたします。ということで、最初からざっばらんにお伺ひいたします。まずは現状における、レッズレディースさんとしての課題を教えてください。

神戸 とにかくレッズレディースとしての課題でもあり、WEリーグそのものの課題として、入場者数と認知度を上げることでしょうか。プロの試合を興行として行うに際して、最も大切なことだと思います。

—確かに。しかしながら、レッズレディースさんはなでしこリーグ時代、常に上位にいらして女子リーグそのものを牽引してきた存在でもあります。他のWEクラブよりもアドバンテージがあるのではないのでしょうか。

神戸 存在としてはそうかもしれませんが、以前と比較しても、観客数は大きく変わらず、平均ですと二千人程度でしょうか。やはりもっともっと広めていかなければならないと思います。

—そうそう、先日、トップチームとレディースのチームの選手皆さんが、浦和駅周辺の商店を回られていましたね。男子トップチームの選手たちが街に出ていくことは、今まで無かったことです。驚きと共に、大きな一歩を踏み出したところですね。

神戸 選手たちは勇気を持ってやってくれたと思います。選手たちが揃ってチラシ配りをしてくれました。現在、埼玉スタジアムが改修中ということでホーム開幕戦を久しぶりに浦和駒場スタジアムで開催するということもあり、WEリーグも中断明けに向けて浦和駒場スタジアムに来てくださいというPRでした。よかったと思います。

—皆さん、ご存じでしたよね？(皆さん、首を横に振る草草……)

渡辺 知らなかったですね。エルフェンさんが熊谷でPRされていたのは、新聞で知りましたけど。

神戸 事前に告知はしていなかったかもしれませんね。クラブからの発信として、お知らせしただけかもしれません。

結果的に、ホーム開幕戦（セレッソ大阪戦）は初勝利したこともあり、大盛況でした。ただ今後、我々としてはどのような成績だろうと、どのような天候であろうと常にスタジアムを満員にすることを目指していきます。レッズレディースも五千人を目指したいですね。

—そこは、がんばっていただきたいと願っています。そこで、今の



神戸 慎太郎 氏

お話に対して、それぞれご意見を伺いましょう。渡辺さん、いかがでしょうか。

渡辺 WEリーグがスタートしてからは、運動面の記事を見るようにしています。少しずつですが、女子サッカーの大会結果などを掲載していただけるようになったと思います。先ほどのエルフェンさんが熊谷でPRしていたという記事も、小さくても発信していただければ認知することができます。やはり、SFAとしてまずできることは情報発信のお手伝いでしょう。

ウチの近所で活動しているVENTUSさんも、選手たちがPRに回っていました。地域の人たちに選手を知ってもらうことが大事ですね。

### 「レッズレディースには身近な存在に」(池田さん)

池田 レッズさんは「ブランド」として、男子チームが根付いていますよね。だからでしょうか、他のWEクラブと比べると、レッズレディースさんは「ちょっとお高い」かなと思ってしまいます。ただ、観客数を増やすということを目的とするのであれば、男子チームはともかく、レッズレディースさんはもっと身近に感じてもらえる存在になってほしいですね。



池田 浩美 氏

新型コロナウイルスの感染も沈静化しつつある中、ようやく選手たちもファンの人たちと交流ができるようになるでしょう。特に子どもにとって、選手たちと握手をすることが大きなきっかけになるかもしれません。さらに、その選手が試合で活躍してゴールを決めてくれたとなれば、その喜びで残ると思うんですね。

そうですね、まず子ども。毎回この場でお話させていただいていますが、各ご家庭で実権を持っていらっしゃるのは奥さんですよね。子どもと奥さんが「試合に行きたい!」と言えば、ご主人も一緒に来てくれますよ(笑)。

あとは選手たちの意識です。確かに選手が考えるのはプレーが第一です。しかし、プロになった以上、観客動員なども考えて行動することは使命だと思います。すぐに効果は出ないかもしれませんが、始めることが大事ですし、継続していかなければ、もっと身近な存在になってほしいですね。

柏 昨日、たまたまですが、14時頃に浦和パルコの前で待ち合わせをしていました。弾き語りをしている人がいて、その周りに15~20人の人たちが集まっていました。バスロータリーでは頻繁にバスの出

入りがあって……これまで平日の日中に駅前にいるということはあまりありませんでしたが、思っていた以上に人通りが激しいんですね。

そこで思ったのは、試合の前日に「明日、駒場で試合があります」と選手がPRしてくれたらということです。道行く人たち、バスを待つ人たちなどに声をかけるのはどうでしょうか。

今日は、北浦和小学校で「ハートフルクラブ」のスタッフが授業をするとのこと。そこでもピラを配ればいいですよね。ニーズはあると思うんです。

**神戸** 皆さん、それぞれありがとうございます。中でも池田さんがおっしゃった「子どもと母親をターゲットにする」はなるほど、と思います。特に女子サッカーとしては、リンクしやすいと思いますね。

ただクラブからアクションできるかという、難しい面もあります。どうしてもホームタウンの人たちを対象に何かしようとなると、さいたま市や浦和区など協力をさせていただく必要があるのが現状です。でも、定期的に県内で開催している「ハートフルクラブ」に選手が行く、元選手がコーチになることで親しみやすさは浸透していくと思いますね。

**柏** 観客の男女比率というのはどうなのでしょう？ 女性が多いですか？

**神戸** 一番多いのは40～50代の男性ですね。それも女子だけ、レッズレディースだけを応援している方が多いです。

——40～50代の男性こそ、Jリーグをスタジアムで観戦してくれる一番のお客さんですね。

**神戸** レッズレディースでも、そういう人たちが「古参」として、応援し続けてくれています。

**池田** 私がいた田崎ペレーレでも、ヌシのようなサポーターの方がいらっしゃいましたね。

## 「幼稚園で一緒に遊んでみたり」(渡辺女子委員長)

**渡辺** お子さんとお母さんをターゲットにするならば、やはり幼稚園ではないでしょうか。園庭でサッカーをしている子どもたちをよく見かけますし、それを見守りながらお母さんたちが立ち話をしているのも見ます。ホント、単発で30分くらいの短時間でもいいので、選手たちが遊びに行くと「またね!」と言って帰っていく、という活動はどうなのでしょう。

**柏** できればユニフォームを着て行ってね。子どもたちからも「また来てね」と言ってくれそうじゃないですか。

**池田** 保育園だと、保護者の多くが仕事を持つお母さんなので忙しいかもしれませんが、幼稚園だとお母さんが送り迎えしてくれているので、お母さんたちも一緒にどうですか?と巻き込んで



渡辺 典子 SFA 女子委員長



▲さいたま市中学校女子サッカー大会(常盤中と原山中が対戦)に、レッズレディースのトップチームの選手たちがサプライズで登場。このような交流がもっと広がれば、埼玉の女子サッカーはもっと発展するだろう

サッカーをしてみるとか。実際、立ち話が始まると「永遠にしゃべり続けるんじゃないの?」と思うようなお母さんもいますからね(笑)。

**神戸** 女性に観戦に来ていただきたいですね。あと、WEリーグは今、奇数チームですので必ず1チームお休みがあります。そこで「WE ACTION DAY」と名付けて、リーグの理念「女子サッカー・スポーツを通じて、夢や生き方の多様性にあふれ、一人ひとりが輝く社会の実現・発展に貢献する。」の実現を目指しています。ただ、今後はこのような活動を日常的に実施していくことがWEリーグの意義だと思っていますし、行うことに存在意義があると思うのです。

**池田** 先ほど言いましたが、プロ選手はプレーだけでなく、プレー以外のことにも目を向けなければならないと思います。例えば、普及活動に協力するなどのマストはあるのでしょうか?

私の時代は、仕事あつてのサッカーでした。アマチュアでしたからね。でも、プロになって、やはりお客さんに来てもらわなければプロじゃないと思うんです。その部分をクラブに委ねているだけでは解決しないのではないのでしょうか。選手たちが自分たちで考えられるようになるといいですね。

**神戸** そうですね。男子のトップチームに求められているのは、勝負の部分であったり、プレーそのものだったりします。女子も同じですが、もう一つ、二つ要素がないと厳しいと思います。そういうことを発案していくのが、クラブなのか? 選手たちからなのか? そういう面での「足の出し方」がわからないというのもあると思います。

あと、2011年にFIFA女子ワールドカップで優勝してから10年が経ちました。なでしこジャパンの魅力も上げていく必要がありますね。

——指導の現場にいらっやって、10年前の熱量と今の熱量では違いがあるのでしょうか?

**神戸** 熱量は変わりませんね。ただ、サッカーをする女の子は増えていますが、なかなかトップにつながっていないというのが現状です。技術的に上手い子は増えていきますよ。

**柏** 先日、キッズフェスティバルがあつてスタッフと話をしたのですが、子どもたちは毎日のように習い事をしていて忙しいと。サッカーもその一つで「土曜日に試合があるよ」と言ったら、「その日は塾です」と。「それでは試合になりません」という声を聞きました。

**神戸** サッカーを「お稽古ごと」からどう脱却させるかですね。サッカーは自ら行う能動的なものであり、一人ではなくみんなでするものだと理解してほしいですね。そこで、3クラブが協力していきたいものです。

**池田** 確かに子どもには選択肢が多いほうがいいですよね。うちの娘もサッカーをしながら、バレーボールもしています。ただ「そろそろどちらかにすれば?」と言っているのですが……もしかしたら、バレーボールに傾いてしまいそうです(苦笑)。

一般的に、可能性があるのであれば、やりたいことをやらせてあげたいですね。

——選択肢が多い分、簡単に止めることもできてしまうという課題もありますね。

**渡辺** 今、子どもたちに対して「がんばれ」が言えない時代になりました。「大丈夫?」と聞いて、あとはその子本人の意思が尊重されます。見ていると、「辛くてもがんばろう」という気持ちを持っている子だけが残っているような気がします。楽な方に行ってしまうがちですので、どこかで育てていかなければならないと思いますね。

——だからこそ、WEリーグの選手たちがその「モデル」になってほしいものです。

## 「結婚、出産しても現役を続けていける道を」(柏専務理事)

**柏** 「モデル」と言えば、新聞で岩清水さん(梓・日テレ・東京ヴェルディバレーザDF)の子育ての記事を読みました。3歳のお子さん

がいて「この子が（私がサッカー選手だと）わかるまで続けたい」という話の中で、試合中はスタジアムの中のナーサリー（託児所）でお願いしているとのことでした。彼女のような立場の選手が、結婚、出産しても現役を続けていける道を開けてくれるといいですね。

**池田** 試合だけでなく、普段の練習からナーサリーがあってほしいですよね。

**柏** 遠征もありますし、親御さんとの協力があってのことだという話です。

——家族の理解、協力がないと続けられないのが現実です。こういうことも含めて、選手一人ひとりが先駆者となってくれることで、後に続く子どもたちに「選択肢」ができると思います。「こういう続け方があるんだ」というのを見せてもらえるといいですね。

**神戸** そのためには「出口」を大事にしなければならないと思っています。ジュニアユースの子どもたちには、35歳まではプレーを続けてほしい。その後の50年をデザインしてほしいと。だから勉強してくださいという話をしています。

実際問題として、ジュニアユースからユースに昇格できない選手がいるんです。「この後どこでプレーしたいのか教えてほしい」と話をし、高校などへ練習参加できるよう調整します。同様にユースからトップに昇格できない選手には大学進学相談に対応しますが、ここ何年は志望大学への進学が叶っています。

埼玉県にWEリーグのクラブが3チームある中、やはり小学校、中学校でサッカーを続けてくれる環境を整えたい。現状で言えば、とりこぼさないようにしたい。高校まで続けてくれる選手は、県内の高校、大学と進学してくれて、サッカーを続けてくれれば、県内クラブや他のトップチームでプレーできる可能性があるはずです。そういう選手が、トップチームに入れなくても国体の「成年女子」で活躍してくれたらいいですね。

——まさに昨日の会議の最後の話ですね。普及から国体までの流れをWEクラブ3つとSFAでの協働事業として取り組まなければならないと思います。



柏 悦郎 SFA 専務理事

**渡辺** そのためにも絶対的に女性の指導者が足りません。プレーヤーだった人たちが指導に、サッカーに関わってくれる人材になってくれることを期待しています。

**池田** それでも以前に比べれば増えましたよね。

**神戸** もっと女性指導者に現場を任せればいいと思います。私たちがサポート役になれば、自然とひとり立ちしてくれると思います。

**渡辺** 遠慮がちに入ってくる方が多いので、そこからどうやる気を引き出せるか。そういうことも、一緒になって取り組んでいただけるとありがたいです。

——これらの取り組みが、直接的ではないもののWEクラブを盛り上げていくことになると考えています。当然ながらいろいろ課題はありますが、ここまでの歴史を踏まえて、ここからもレッズレディースさんには期待しています。最後に一言いただけますか。

**神戸** Jリーグは「100年構想」を打ち出して、地域名を前面に出しています。WEリーグはそこを明確には打ち出していません。下部組織から所属選手を増やしていかなければならないと思うのです。今、トップチームを見ると2/3が下部組織出身となりましたが、これを80~90%まで引き上げたいと思っています。

また、今シーズン、WEリーグの全クラブにレッズレディースの育成出身の選手が所属することになりました。もっともっと、いい選手を輩出していきたいですね。よろしくをお願いします。

——これからもよろしくお願いたします。ありがとうございました。



## 審判委員会より～

# 1人制審判への理解を求めて～「大南杯」を通じて

SFA 審判委員会副委員長・前之園晴廣（県立大宮南高校・教頭）

2月19日、第8回大南杯が開催されました。県立大宮南高校サッカー部がさいたま市内を中心とした少年団をお呼びし、小学5年生を対象に行うフェスティバルです。子どもたちには日ごろの練習を試す機会として、部員たちには地域貢献を理解し、少しでも参加した子どもたちにサッカーの楽しさを伝えてほしいという願いから開催しています。

今回、初めてこのフェスティバルを「1人制審判」で開催しました。近年、全国や関東での4種世代の試合は「1人制審判」で行われています。審判委員会の中で確認しましたが、埼玉県内ではいまだ多くの大会が「3人審判（主審と副審二人）」で開催されている状況です。そのせいでしょうか、県大会を突破したチームが関東、全国へと進むと「1人制審判」に戸惑っているという報告が上がってきているのです。

今回の試みは、埼玉県の4種で「1人制審判」が少しでも理解されればと思ってのことです。

というのは、子どもたちを指導する皆さんには、グラスルーツ（育

成）の目的は目先の勝敗ではないということが一つ。二つ目は子どもたちには、プレーに集中する中でジェントルマンシップを涵養（かんよう）する場となるように。そして担当審判には対角線式審判法を基本としながらも判定するために予期・予測を持ちながらより良いポジションに移動する、広い視野を確保することの大切さを学べる機会となるからです。また、観ている人も含めて、競技規則の精神を理解する一助となることに気づいて欲しいのです。

個人的には、日本でサッカーが文化となり、埼玉からワールドカップで活躍してくれる選手と審判員を輩出し、日本がワールドカップで優勝することを夢見ています。

今回、趣旨にご理解いただいた12チームの皆さん、ありがとうございました。ぜひ、他のフェスティバル、さらには公式戦でも「1人制審判」を広げていきたいものです。

## 【担当審判員コメント】

### ●岡本 駿佑 (18歳)

1人審判制において、主審は普段以上の責任感を持つことが重要だと考えています。主審は試合開始から試合終了まで1人で、そこで普段よりもコミュニケーションを多く取り、選手、スタッフに分かりやすく正確に伝え認識の差を無くす努力が必要だと思います。また、判定自体は間違っていないとしても、その判定を様々な方法のコミュニケーションを用いて正確に選手、スタッフ、観客に伝える必要があります。これを行うことによって、主審への信頼感は増すと考えていて、実際に大南杯でも実感しました。

1人審判では責任感を強く持ち、いつも以上に周りに信頼感を与えることが選手、スタッフ、観客にとってストレスの無い試合に繋がると考えています。大南杯では選手がとても高い強度でプレーをしていたので、その強度を自らの判定で崩してしまう事もなく、いい試合、大会を作り上げることに少しは力添えできたかと思っています。1人審判を経験することは確実に審判員としての成長に繋がると思いますが、これからも1人審判を出来る機会を増やして行ってほしいなと個人的に思っています。

### ●三塚 大貴 (23歳)

久々の1人制審判の担当でしたが、改めてポジション取り、視野の確保が難しいと感じ、副審や第4審に多く助けられているのだと感じました。

ただ、普段動かない場所にポジションを取るなどのチャレンジをした結果、いつも見ているものとは違った景色が見え、4人制の試合でも新たなチャレンジを試みようと思いました。

そして、普段の試合でも最も重要なことですが、自分が認識できた明らかなもののみを判定するというのが大切であると強く感じました。1人制では自分が見えるものの限界があり、ボールが出たかどうか、オフサイドポジションであったかどうかなど際どい事象に対して自信を持って判定を下せる場面が少なくなります。もちろん見るために最大の努力はしつつ、それでも「分からない」「疑問が残る」ものに関しては笛を吹かない、旗を上げないということが大切であると改めて学べました。

### ●霜田 翔太 (22歳)

私は普段、小学生カテゴリーの試合を担当することも少なく、社会人や高校生のカテゴリーが多く、副審と4審がセットの試合が普通であり、一人審判の経験は少ない。そこで私は、四つのことを意識しながら、一人審判を行った。

一つは、プレーを近くで見る。二つ目は、争点が見える角度を取る。三つ目は、争点と全体を見る。四つ目は、攻守の切り替えに素早く対応する。

これらの四つのことは、どのカテゴリーの審判活動をするにおいても、重要な点である。

試合は3試合割り当てを頂いたが、これらの事を意識しながら、円滑な試合運営ができたと考えている。

今大会では、サッカーという競技を経験している競技者もいる一方で、サッカーを始めたばかりの競技者もいた。試合の中でとどき再開方法がまだ理解できず戸惑っている競技者もいた。試合の中で、審判員がルールを伝えると同時に自身の知識も深める必要があると感じた。

また競技者の保護者、運営の人たちの協力があって成立した大会だったと思う。サッカーの審判ができるという環境を当たり前だと考えず、色々な方たちの協力があってサッカーは成立すると深く考えることができた。

これからも、日頃のトレーニングや競技規則のインプットを怠ることなく、選手第一主義を考えながら、審判活動を行いたい。

### ●阿部 篤 (36歳)

今回一人制審判をさせていただき、強度の高い試合であった為、ポジショニングや判定など改めて勉強になりました。

一人制審判を行うことで、4人制の審判よりもより一層選手や指導者が審判に対してリスペクトできると思いますし、審判も選手をリスペクトしながらより選手が楽しくサッカーができるようにと考えながらジャッジができる。ここに一人制の意義があると思います。

オフサイドの判定、タッチライン・エンドライン・ゴール・ノーゴールの判定と難しい部分もありますが、常にどう動いたらいいか、どこで判定したらいいかなど勉強になる部分が多いので、今後も積極的に一人制審判の活動に参加していき、更に技術の向上に努めていきたいと思いました。





# 第16回埼玉県第4種サッカーリーグ・選手権大会 上尾朝日FCスポーツ少年団 Aが3年振り2度目の優勝!

昨年4月9日から県内各地で「埼玉県第4種サッカーリーグ戦」が開幕しました。参加449チームが52ブロックに分かれて、3季ぶりの通年開催となったリーグ戦で成果を積み上げてきました。そして11月23日からは各1位チームが集い、「埼玉県第4種選手権大会」に挑みました。12月11日に準決勝と決勝が開催され、決勝戦では上尾朝日FCスポーツ少年団 Aがエクセレントフィート FCに2-1で逆転勝ちを収め、2度目の優勝を果たしました。

主催 (公財) 埼玉県サッカー協会  
 主管 (公財) 埼玉県サッカー協会第4種委員会  
 後援 埼玉県/NHKさいたま放送局/テレビ FM NACK5/埼玉新聞社



協賛 埼玉縣信用金庫  
 特別協力 URAWA REDS, Aradja



決勝 上尾朝日フットボールクラブ少年団 A vs エクセレントフィート FC

準決勝 エクセレントフィート FC vs FCアビリスタ

順位	チーム名	得点
1	IFC/LIVENT	2
2	上尾朝日フットボールクラブ少年団P	0
3	カムイジュニア千代田	1
4	安行フットボールクラブ	3
5	神川バルフェサッカースポーツ少年団	0
6	大井少年サッカークラブ	0
7	レジスタFC	7
8	FC arco iris m	0
9	AzuLente KAZO U-12	1
10	江南南サッカー少年団 アップル	4
11	ESPIRITO深谷 ジュニア	2
12	FCリアル	1
13	浦和レッドダイヤモンズジュニア	2
14	F.C.VELSA	1
15	プレジールスポーツクラブジュニア	0
16	新座スカイファイターズ	1
17	クラブアトレティコボカジャパン	1
18	If Levante Futebol Clube	5
19	さいたまシーノースフットボールクラブ	2
20	三郷Jr.YouthFC U-12C.F.PASION	0
21	はくつるフットボールクラブ	3
22	JACPA埼玉FC	1
23	FC宗岡	0
24	上尾朝日フットボールクラブスポーツ少年団 A	2
25	FC Gois YANAKA	0
26	川鶴FC	0



準決勝 上尾朝日フットボールクラブ少年団 A vs レジスタFC

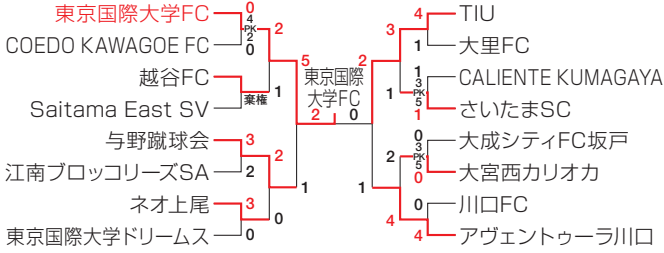


優勝した上尾朝日フットボールクラブ少年団 A

## 大会記録 ● 県内大会

### 1種・社会人

第14回埼玉県社会人サッカートーナメント会長杯 兼  
第28回彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会 社会人予選  
1月8日～2月26日 埼玉スタジアム2002第3グラウンド他



※優勝した東京国際大学 FC が「彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会」に出場



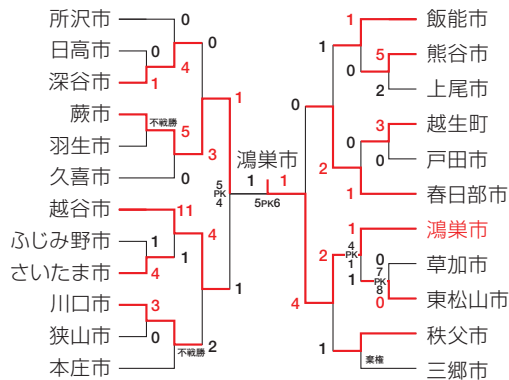
東京国際大学 FC vs TIU

### 2022年度埼玉県社会人サッカーリーグ 1部

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失点差
1	TIU	46	15	1	2	64
2	ドリームス	36	11	3	4	40
3	与野蹴球会	35	11	2	5	6
4	さいたまSC	34	11	1	6	30
5	大成シティFC坂戸	31	10	1	7	5
6	Saitama east SV	23	7	2	9	-5
7	越谷FC	22	7	1	10	-16
8	ACアルマレッザ入間	14	4	2	12	-1
9	CALIENTE KUMAGAYA	14	4	2	12	-24
10	江南プロックリーズSA	7	2	1	15	-99

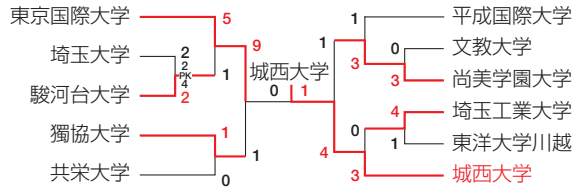
### 2022年度埼玉市町村対抗戦 兼 県民総合スポーツ大会

2月5日～3月12日 熊谷スポーツ文化公園補助競技場他



### 大学

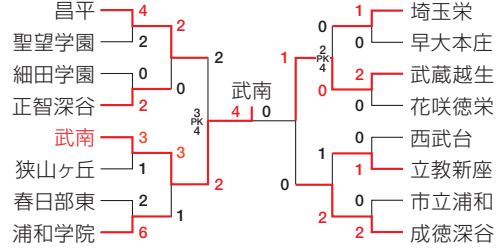
第28回彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会 大学予選  
2月4日～25日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他



※優勝した城西大学が「彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会」に出場

### 2種・高体連

令和4年度県民総合スポーツ大会 兼 高等学校サッカー新人大会  
2月11日～19日 埼玉スタジアム2002第3グラウンド他



決勝 武南 vs 武蔵越生

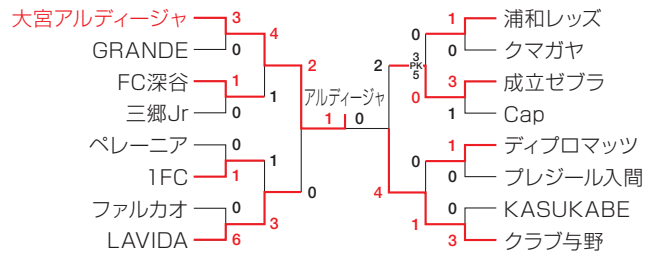
### 3種

高円宮杯JFA U-15サッカーリーグ2022  
埼玉第15回埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	クマガヤ	49	16	1	1	55	10	45
2	アスミ	45	15	0	3	48	11	37
3	ディプロ	27	8	3	7	31	29	2
4	成立ゼブラ	27	8	3	7	32	33	-1
5	1FC	26	8	2	8	19	21	-2
6	アレグレ	24	7	3	8	25	29	-4
7	三郷Jr	21	6	3	9	15	27	-12
8	FC深谷	20	5	5	8	16	27	-11
9	コルージャ	8	1	5	12	13	30	-17
10	フォルチ	8	1	5	12	12	49	-37

### 第32回埼玉県クラブユース(U-14)選手権大会

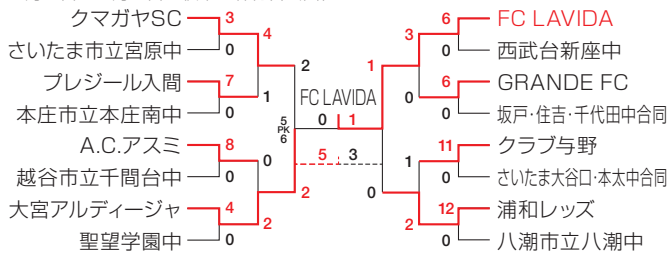
12月3日～1月28日



※優勝は大宮アルディージャU15

## 第25回埼玉県ユース(U-13)サッカー選手権大会

2月4日～3月5日 秋葉の森総合公園他



※優勝はFC LAVIDA

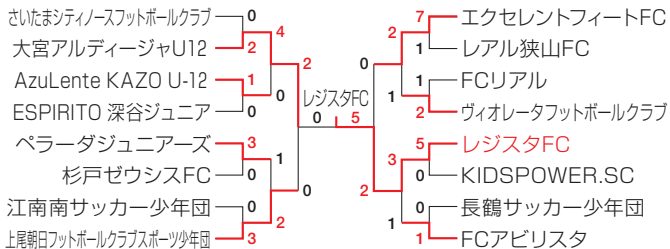


優勝 上尾朝日FCスポーツ少年団A

## 4種

### 第17回埼玉県第4種新人戦中央大会

1月29日、2月11日



※優勝したレジスタFCと準優勝の大宮アルディージャU12はJA全農杯チビリンピック2023関東大会に出場する



決勝 上尾朝日FCスポーツ少年団A vs 新座片山FC少年団

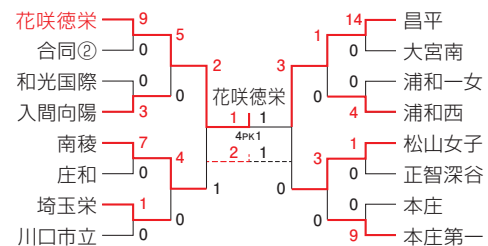


優勝 レジスタFC

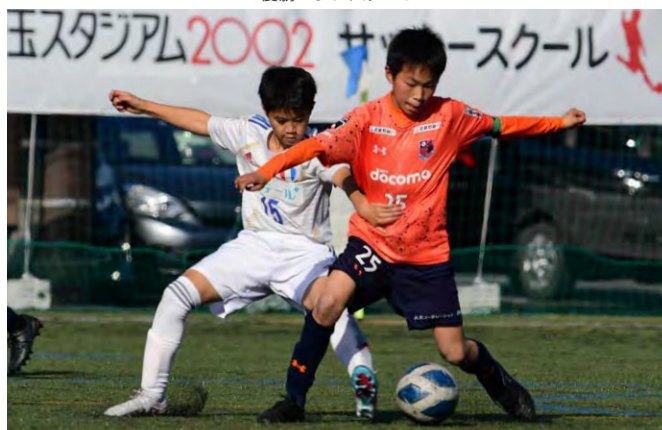
## 女子

### 令和4年度県民総合スポーツ大会 兼 埼玉県高等学校女子サッカー新人大会

12月24日～2月19日



決勝 花咲徳栄 vs 昌平



決勝 レジスタFC vs 大宮アルディージャU12

### 2022第18回埼玉県女子U-15リーグサッカー大会1部

#### ●上位リーグ

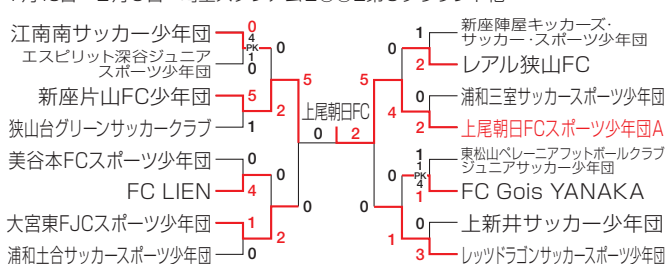
順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	ちひれASエルフェン埼玉マリU-15	9	3	0	0	3	0	3
2	大宮アルディージャVENTUS U15	6	2	0	1	7	1	6
3	クラブ与野レディース	3	1	0	2	1	3	-2
4	GRAMADO FC TOKINAN	0	0	0	3	0	7	-7

#### ●下位リーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	1FC川越水上公園メニーナU-15	7	2	1	0	8	4	4
2	熊谷リリーズジュニアユースカサブランカ	5	1	2	0	8	3	5
3	クマガヤサッカースポーツクラブライラック	3	1	0	2	6	11	-5
4	越谷レディースファミリー	1	0	1	2	3	7	-4

### 第35回県民総合スポーツ大会兼埼玉県サッカー少年団中央大会

1月15日～2月5日 埼玉スタジアム2002第3グラウンド他



### 2022第10回埼玉県女子ユース(U-14)サッカー新人戦大会

●Aグループ

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	大宮アルディージャ	13	4	1	0	9	4	5
2	浦和レッズ	12	4	0	1	5	2	3
3	INAC白岡U14	8	2	2	1	9	3	6
4	ちふれ	6	2	0	3	4	4	0
5	GRAMADO	4	1	1	3	3	4	-1
6	1FC川越U-14	0	0	0	5	1	14	-13

### シニア

#### 2022年度第35回県民総合スポーツ大会

9月11日~12月18日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他

FC西武台	4	0	0	3	FC浦和
川口SC	1	5PK4	2	0	SFC
クマガヤSCシニア	2	0	0	0	新明SC
川越シニア	1	0	0	3	SOL TODA
本庄	2	0	0	1	セレソン所沢
越谷シニア	0	0	0	0	ガルサ越谷シニア
KFC	0	0	0	2	ラホージャ
サンシンシニア	3	0	0	0	与野シニアFC

#### 2022年度埼玉県シニアサッカー連盟O-40代表決定戦

1月15日、29日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他

FC.西武台	3	1	FC.西武台
与野シニアFC	0	0	
SOL TODA	0	0	
セレソン所沢シニア	0	0	

※優勝したFC.西武台は「JFA 第11回全日本O-40サッカー大会関東地区予選会」に出場し、準優勝のセレソン所沢シニアは「KTFA 第17回関東O-40サッカー大会」に出場する

#### 2022年度第20回 埼玉県 O-50サッカー選手権大会

9月11日~12月18日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他

FC浦和シニア	5	2	0	0	川越シニアサッカークラブ
熊谷ブーメラン	0	1	4	5	越谷シニアサッカークラブ
セレソン所沢シニア	1	0	1	1	東松山オールドパワーズ
FC上尾シニア	4	0	2	2	クマガヤサッカースポーツクラブシニア
NTTシニア	不戦敗	0	0	0	新明シニアサッカークラブ
埼玉フットボールクラブ新座	1	1	0	2	川口シニアフットボールクラブ
熊谷セントラル蹴鞠団	0	0	0	1	秩父バンビョウユナイテッド
VAMOS鳩山SC	1	0	0	4	バルスフットボールクラブ

#### 2022年度埼玉県シニアサッカー連盟O-50代表決定戦

1月15日、29日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

クマガヤサッカースポーツクラブシニア	3	2	クマガヤサッカースポーツクラブシニア
セレソン所沢シニア	0	0	
越谷シニアサッカークラブ	1	1	
FC浦和シニア	1	1	

※優勝したクマガヤ SC シニアと準優勝したFC浦和シニアは「JFA 第22回全日本O-50サッカー大会関東地区予選会」に出場する。越谷シニアSCは「KTFA 第18回関東O-50サッカー大会」に出場する

### フットサル

#### 第22回埼玉県フットサルリーグ 1部 2022後期上位リーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	スプリズ	37	3	1	0	25	11	14
2	デールさいたま	23	1	1	2	18	19	-1
3	FG サルー	22	2	1	1	19	17	2
3	アバンソールさいたま	22	1	0	3	12	25	-13
5	ラウニダッド埼玉	19	1	1	2	14	16	-2

### 第19回埼玉県フットサルリーグ女子2022

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	ルルスLOL	18	6	0	2	63	22	41
2	INAC白岡SCL	16	5	1	2	83	21	62
2	If Levante 北本 señorita	16	5	1	2	45	12	33
4	武南高校女子フットサル部A	9	3	0	5	45	29	16
5	武南高校女子フットサル部B	0	0	0	8	5	157	-152

#### 第4回埼玉県U-18フットサルリーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	FFCエストレーラ川口	28	9	1	0	142	11	131
2	正智深谷高校	25	8	1	1	137	22	115
3	If Levante	18	6	0	4	63	54	9
4	浦和麗明高校	6	2	0	8	40	92	-52
5	叡明高校	6	2	0	8	27	120	-93
6	山村国際高校	6	2	0	8	25	135	-110

#### 第1回埼玉県U-15フットサルリーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	IFC L.S/BANDIT	15	5	0	0	60	9	51
2	FFCエストレーラ川口	12	4	0	1	25	11	14
3	FC Gois	9	3	0	2	44	17	27
4	If Levante	6	2	0	3	11	43	-32
5	エトセトラ	3	1	0	4	18	25	-7
6	FCプレミア	0	0	0	5	5	58	-53

## 大会記録 ● 県外大会

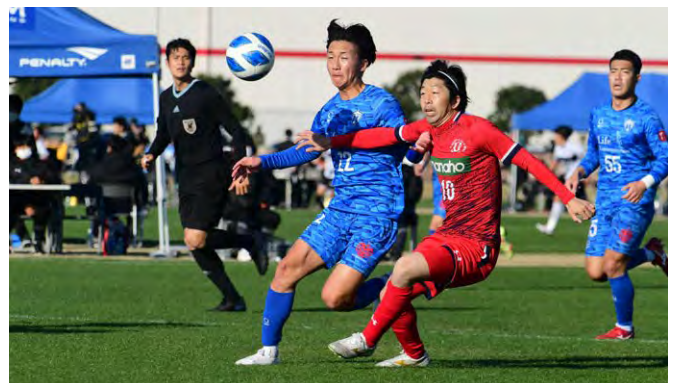
### 1種

#### 第56回関東社会人サッカー大会

12月10日~18日 ひたちなか市総合運動公園陸上競技場他

1回戦 ザスパ草津チャレンジーズ	1-1	与野蹴魂会
	(4PK2)	
作大FC	1-0	大成シティFC坂戸
USC nanaho	0-0	さいたまSC
	(6PK5)	
Tokyo International University	2-2	境トリニタス
	(3PK5)	

※はやぶざいレブン(神奈川)、境トリニタス(茨城県)が関東2部に昇格



さいたま SC vs USC nanaho

#### 日本スポーツマスターズ2023サッカー競技 関東予選会

2月18日、19日 ひたちなか市総合運動公園陸上競技場他

1回戦	O-35埼玉選抜	3-1	FCプログレス千塚(山梨県)
代表決定戦	千葉県O-35選抜	1-0	O-35埼玉選抜

※本大会には千葉県O-35選抜と神奈川県選抜が出場

### 大学

#### 2022年度第55回関東大学サッカー大会

(関東大学サッカーリーグ戦 [2部] 参入戦)

●プレーオフ 非公開 10月26日

平成国際大学 3-1 城西国際大学

●本大会 10月26日～11月26日

グループB

第1節	共栄大学	0-4	平成国際大学
第2節	國學院大學	2-0	平成国際大学
	共栄大学	0-1	中央学院大学
第3節	共栄大学	0-1	亜細亜大学
	中央学院大学	2-1	平成国際大学
第4節	共栄大学	1-1	立教大学
	亜細亜大学	0-1	平成国際大学
第5節	國學院大學	5-0	共栄大学
	平成国際大学	0-0	立教大学

※山梨学院大学と立教大学が関東2部に昇格。作新学院大学と亜細亜大学が「2部参入プレーオフ決定戦」に出場する

2022年度関東大学サッカーリーグ戦2部参入プレーオフ決定戦

12月3日 プリオベッカ浦安競技場

城西大学 0-1 作新学院大学

※城西大学は来期から始まる3部リーグに降格。なお、3部リーグには埼玉から平成国際大学、共栄大学も所属する

2種

高円宮杯 JFAU-18サッカープレミアリーグ2022EAST

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
3	大宮アルディージャU18	39	12	3	7	35	24	11

高円宮杯 JFAU-18サッカープリンスリーグ2022関東1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	昌平高校	41	12	5	1	39	18	21
6	浦和レッドダイヤモンズユース	23	7	2	9	26	27	-1
10	西武台高校	14	3	5	10	19	29	-10

※優勝した昌平はプレミアリーグプレーオフに出場。西武台は関東2部に降格

高円宮杯 JFAU-18サッカープレミアリーグ2022プレーオフ

12月11日 広島広域公園第一球技場

●ブロック決勝戦 昌平高校 2-0 浜松開誠館高校

※昌平高校はプレミアリーグに昇格

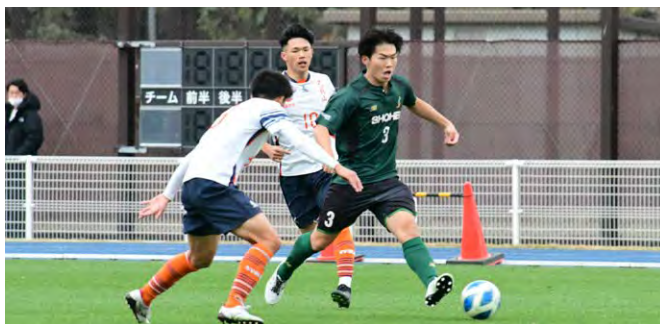
高円宮杯 JFAU-18サッカープリンスリーグ2022関東2部参入戦

12月17日～21日

決定戦(1,2位) 昌平B 1-3 國學院久我山

5位決定戦予備戦 八千代 3-0 昌平B

※昌平Bは5位入賞でまず、県1部リーグに残留



昌平B vs 國學院久我山



昌平B vs 八千代

高校

第101回全国高校サッカー選手権大会

12月28日～1月9日 国立競技場他

2回戦 昌平 3-1 近江

3回戦 昌平 1-2 前橋育英

※優勝は岡山学芸館(初優勝)



昌平高校



昌平 vs 近江



昌平 vs 前橋育英

3種

高円宮杯 JFA 第34回全日本 U-15サッカー選手権大会

12月10日～27日 味の素フィールド西が丘他

1回戦 カターレ富山U-15 0-2 クマガヤSC

2回戦 愛媛FCU-15 0-4 クマガヤSC

準々決勝 クマガヤSC 1-3 サンフレッチェ広島ジュニアユース

※優勝はヴィッセル神戸U-15

2022年度関東ユース(U-15)サッカーリーグ参入戦

12月4日、18日

FC古河 1-2 クマガヤSC

※クマガヤSCは関東2部に昇格

2022関東U-13リーグ

●1部Aリーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
3	FC LAVIDA	30	9	3	2	28	13	15

●1部Bリーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	大宮アルディージャU15	32	10	2	2	32	13	19
2	浦和レッドダイヤモンズジュニアユース	27	8	3	3	23	14	9

4種

JFA U-12ガールズゲーム2022関東 in 千葉

1月28日、29日 フクダ電子スクエア

●予選リーグ

Bブロック

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	狭山女子FC	6	2	0	0	6	2	4

Dブロック

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	FCスペラルールtoda	4	1	1	0	7	1	6

Fブロック

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
3	桶川クイーンズ少女サッカークラブ	0	0	0	2	0	4	-4

Gブロック

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
1	大宮日進SSレディース	4	1	1	0	4	2	2

●1位トーナメント

- 1回戦  
 バディFC 0-0 狭山女子FC (3PK4)  
 古河なでしこFC 0-2 FCスペラルールtoda  
 大宮日進SSレディース 1-3 AC等々カマーメイド
- 準決勝  
 狭山女子FC 0-1 FCスペラルールtoda
- 決勝  
 FCスペラルールtoda 1-3 AC等々カマーメイド
- ※準優勝にFCスペラルールtoda。優勝はAC等々カマーメイド

女子

皇后杯 JFA 第44回全日本女子サッカー選手権大会

11月26日~1月28日 ヨドコウ桜スタジアム他

- 1回戦  
 東京国際大学 0-4 ヴィアマテラス宮崎
- 4回戦  
 大宮アルディージャVENTUS 1-0 早稲田大学  
 三菱重工浦和レッズレディース 3-1 AC長野パルセイロ・レディース  
 ちふれASエルフェン埼玉 2-1 伊賀FCくノノ三重
- 準々決勝  
 アルビレックス新潟レディース 1-0 大宮アルディージャVENTUS  
 三菱重工浦和レッズレディース 1-2 INAC神戸レオネッサ  
 ノジマステラ神奈川相模原 0-2 ちふれASエルフェン埼玉
- 準決勝  
 INAC神戸レオネッサ 2-1 ちふれASエルフェン埼玉
- ※優勝は日テレ・東京ヴェルディベレーザ

第28回関東女子サッカーリーグ1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
8	大東文化大学	4	1	1	12	9	49	-40

第28回関東女子サッカーリーグ2部

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
8	1FC川越水上公園メニーナ	5	1	2	11	11	77	-66

第29回関東女子サッカーリーグ 入替トーナメント大会2部都県入替戦

1月7日~22日 レッズランド他

- 1回戦  
 山梨学院レッドサンダース 1-0 GRAMDO FC TOKINAN
- ※十文字高校が2部昇格。2位のオルカ鴨川BUが入替戦に出場
- 2部入替戦  
 オルカ鴨川BU 1-2 1FC川越水上公園メニーナ
- ※1FC川越水上公園メニーナが2部残留

第31回全日本大学女子サッカー選手権大会

12月24日~1月6日 味の素フィールド西が丘他

- 1回戦  
 東京国際大学 6-1 活水女子大学(長崎県)
- ラウンド16  
 山梨学院大学 1-0 東京国際大学
- ※優勝は東洋大学

第36回関東大学女子サッカーリーグ戦 1部

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
7	東京国際大学	33	9	6	7	18	18	0
9	十文字学園女子大学	24	7	3	12	17	39	-22
11	大東文化大学	14	3	5	14	10	38	-28

第36回関東大学女子サッカーリーグ戦2部

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
3	武蔵丘短期大学	37	12	1	5	38	15	23
6	尚美学園大学	23	7	2	9	28	19	9

第36回関東大学女子サッカーリーグ戦3部

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
4	城西大学	18	5	3	4	25	17	8

JFA 第26回全日本 U-18女子サッカー選手権大会

1月3日~9日 J-GREEN堺

- 1回戦  
 ちふれASエルフェン埼玉マリU-18 7-0 清水FC女子  
 大分トリニータ レディース 0-8 三菱重工浦和レッズレディースユース
- 2回戦  
 ちふれASエルフェン埼玉マリU-18 2-1 マイナビ仙台レディースユース  
 ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18 1-5 三菱重工浦和レッズレディースユース
- 準決勝  
 ノジマステラ神奈川相模原ドゥーエ 2-1 ちふれASエルフェン埼玉マリU-18  
 三菱重工浦和レッズレディースユース 0-2 日テレ・東京ヴェルディメニーナ
- ※優勝は日テレ・東京ヴェルディメニーナ

高円宮妃杯 JFA 第27回全日本 U-15女子サッカー選手権大会

12月10日~12月27日 味の素フィールド西が丘他

- 1回戦  
 三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース 7-0 ヴィアマテラス宮崎Soreina  
 八女学院女子フットボールクラブ 1-3 INAC白岡SCレディース  
 富山レディースSC 1-4 大宮アルディージャVENTUS U15
- 2回戦  
 三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース 2-0 北海道リラ・コンサドーレ  
 横須賀シーガルズMEG 0-0 INAC白岡SCレディース (4PK2)
- 準々決勝  
 三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース 3-1 RESC GIRLS U-15(大阪府)  
 大宮アルディージャVENTUS U15 1-0 セレッソ大阪堺ガールズU-15
- 準決勝  
 三菱重工浦和レッズレディースジュニアユース 0-2 ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15  
 大宮アルディージャVENTUS U15 0-0 JFAアカデミー福島 (2PK3)
- ※優勝はJFAアカデミー福島

第27回関東女子ユース (U-15) サッカー選手権大会 兼 JFA 第27回 全日本 U-15女子サッカー選手権大会関東予選

10月29日~11月6日 清瀬内山運動公園他

- 1回戦  
 ちふれASエルフェン埼玉マリU-15 4-1 小美玉フットボールアカデミー  
 クラブ与野レディース 3-1 フォルトゥナVogel U-15  
 大宮アルディージャVENTUS U15 9-1 エストレーラFC境メニーナ  
 1FC川越水上公園メニーナU-15 0-3 横須賀シーガルズ
- 2回戦  
 日テレ・東京ヴェルディメニーナ 2-1 ちふれASエルフェン埼玉マリU-15  
 クラブ与野レディース 0-2 スフィアダ世田谷FCユース  
 日体大SMC横浜U-15 Biene Aoba 0-4 INAC白岡SCレディース  
 ノジマステラ神奈川相模原アヴェニール 0-1 大宮アルディージャVENTUS U15
- 準々決勝  
 ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-15 0-1 INAC白岡SCレディース  
 大宮アルディージャVENTUS U15 0-0 SEISA OSALIAア湘南FC U-15 (1PK4)
- 準決勝  
 日テレ・東京ヴェルディメニーナ 2-0 INAC白岡SCレディース
- ※優勝は日テレ・東京ヴェルディメニーナ。本大会には関東女子リーグ優勝の三菱重工浦和レッズレディースユースとINAC白岡SCレディース、大宮アルディージャVENTUS U15が出場する

第7回 JFAU-15女子サッカーリーグ2023関東1部参入戦・入替戦

1月7日~2月18日

- INAC千葉CRAVO FC 1-1 ちふれASエルフェン埼玉マリ (5PK4)
- ※ちふれASエルフェン埼玉マリU-15は新設された関東2部に昇格

シニア

KTFA 第16回関東 O-40サッカー大会

12月10日、11日 駒沢オリンピック公園

- 予選リーグA組  
 FC西武台 0-1 横浜シニア  
 HTK Albiceleste 1-0 FC西武台  
 FCリズム 0-6 FC西武台

※FC西武台はグループ3位

●順位決定戦~5位決定戦

- FC西武台 2-0 FC伊勢崎ジラーフシニア

※優勝は横浜シニア

## KTFA 第16回関東O-50サッカー大会

12月3日、4日 ひたちなか市総合運動公園

### ●予選リーグB組

T・ドリームス50 2-1 セレソン所沢50シニア  
 セレソン所沢50シニア 2-1 ラッツオス古河FC  
 セレソン所沢50シニア 2-1 山梨シニア

※セレソン所沢50シニアはグループ2位

### ●順位決定戦～3位決定戦

FC大泉50 0-1 セレソン所沢50シニア

※セレソン所沢50シニアは3位入賞。優勝は横浜シニア50

## フットサル

### JFA 第28回全日本フットサル選手権大会関東大会

1月14日～22日 東金アリーナ

1回戦 エスポルオーゴ山梨FC 1-2 城西大学体育会サッカー部  
 準々決勝 バルドラール浦安セグンド 3-2 城西大学体育会サッカー部  
 ※優勝はバルドラール浦安セグンド

### 第24回関東フットサルリーグ2部

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
6	烏天狗フットサルクラブ	14	4	2	6	42	45	-3
11	岩槻フットサルクラブ/tzk	9	3	0	9	25	60	-35

### 第25回関東フットサルリーグ2部参入戦

2月4日～3月5日 神奈川県立スポーツセンター スポーツアリーナ

1回戦 Alla vita sport Gunma 1-2 スプリズ  
 準決勝 スプリズ 3-5 AOKING(東京都)

### 第1回関東U-18フットサル選抜大会

2月23日 小瀬スポーツ公園体育館

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
5	FFCエストレーラ川口	0	0	0	4	5	14	-9

## 2022日本女子フットサルリーグ

### ●レギュラーシーズン

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
8	さいたまサイコ	8	2	2	5	22	33	-11

### ●下位リーグ

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
3	さいたまサイコ	15	2	1	1	11	7	4

### JFA 第19回全日本女子フットサル選手権大会関東大会

11月23日～27日 群馬県内

2回戦 ブラジニア・フットサル・レディーズ(栃木) 1-2 Ambition  
 MADEIRA/BRANCO 柏 0-1 さいたまサイコ  
 準々決勝 流経大メニナ龍ヶ崎 2-2 Ambition (6PK5)  
 FELIZ FAMILIA FUTSAL LADIES 2-1 さいたまサイコ  
 ※優勝はフウガドルすみだレディーズ

### 第13回関東女子フットサルリーグ2022

順位	チーム	勝点	勝	分	負	総得点	総失点	得失差
6	アンビション	18	5	3	3	30	22	8
11	AOHレディーズ	3	1	0	10	24	47	-23

### 第14回関東女子フットサルリーグ参入戦・入替戦

2月5日、3月5日

#### 1回戦

ブラジニア・フットサル・レディーズ(栃木県) 7-0 INAC白岡SCL

### JFA 第13回全日本U-15女子フットサル選手権大会関東大会

11月19日、20日 日環アリーナ栃木

1回戦 INAC白岡SCLレディーズ 2-1 INAC千葉CRAVO FC  
 準決勝 十文字中学校INAC 5-5 白岡SCLレディーズ (5PK3)  
 ※優勝は十文字中学校

## インフォメーション

### ●ガールズフェスティバル・キッズフェスティバル開催

2月12日、SFAフットボールセンターでは「ガールズサッカーフェスティバル in 埼玉2023」が開催されました。参加は7名(小6～中2)ではありましたが、コーチの皆さんの指導を楽しんでくれました。2月23日に同じくSFAフットボールセンターで開催された「JFA キッズU-6サッカーフェスティバル」は男子247名、女子30名の合計277名の子どもたちが集まってくれました。続く、3月5日、「JFA キッズU-8フェスティバル」は越谷・しらこぼと運動公園競技場に男子216名、女子21名の237名の子どもたちが夢中でボールを追いかけてくれたことが印象的でした。

参加してくれた皆さん、ありがとうございました。



ガールズサッカーフェスティバル in 埼玉2023



JFA キッズU-6サッカーフェスティバル



JFA キッズU-8フェスティバル

新型コロナウイルス感染症の流行が丸3年を経過し、ようやく沈静化に向かっていきます。スポーツの現場も以前のような活気が戻ってきています。4月以降、埼玉県内でもサッカーを取り囲む賑わい溢れる日常が戻ることを期待しています。

そこで改めて、サッカーに関わっていらっしゃる皆さまにお願いしたいことがあります。「RESPECT～大切に思うこと」。SFAは2019年にこの考え方を掲げて周知を重ねてきました。しかしほどなくコロナ禍となり、試合会場で、とくに一般の皆さまの目に触れる機会が減ってしまいました。シーズン開幕を迎える今、プレーする選手、指導されているスタッフ、運営に携わる審判・関係者、そして観客の方々、サッカーを取り囲む全員が「RESPECT」を持ち、その精神を発揮されれば「サッカーのある日常」がより素晴らしいものになります。ぜひご協力をお願いいたします。(藤田)

## 編集後記